

宮古市教育振興基本計画 2025-2029（令和7年度～令和11年度）案に対する
パブリック・コメントの実施結果について

- 1 実施期間 令和7年1月16日（木曜日）から2月6日（木曜日）まで
- 2 意見提出方法 投函、郵送、ファクス、電子メール
- 3 提出状況 電子メール 1組 3件
- 4 意見概要と回答 以下のとおり
※ご意見は、趣旨を損なわない程度に要約しました。

■主なご意見に対する回答

No.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
1	P4	Ⅱ総論 第1章 4 環境・エネルギー問題への対応	気候変動と並ぶ環境問題とされる生物多様性の喪失及び海洋プラスチック汚染は、本市の特徴である森・川・海がつながる豊かな自然から恩恵を受けられなくなるどころか、子孫にまで取り返しのつかない負荷を押しつける重大な問題であり、再生可能エネルギーの施策同様に意識を醸成するための教育が必要と考える。	小・中学校では、国が策定する学習指導要領に基づき、生物多様性の喪失、海洋プラスチック汚染、再生可能エネルギーなど、環境・エネルギー問題について、幅広く捉え学習しております。 ご意見を踏まえ、本市の、森・川・海の自然を大切にする心を育成するよう努めてまいります。
2	P47	主要事業 1 学校教育の充実 基本事業 2 豊かな心を育む教育の推進	計画策定の趣旨で「森・川・海」とひとが調和し共生する安らぎのまち」が宮古市の目指す将来像だと前置きしているが、主要事業全般に森・川・海の記述がなく「学校教育の充実」の基本事業に子どもの自立に不可欠とする自然体験についても触れられていない。 今の子どもたちは安全のために森・川・海で遊ぶことができず、遊びの中で主体的にアイ	子どもたちの自然体験については、学校教育において、授業や遠足、自然教室などの校外学習に取り入れています。 生涯学習の推進にある「学校・家庭・地域の連携と協働」については、地域社会や家庭も役割を担いながら学校とともに子どもたちを育てて行こうとするものです。 自然体験のほかにも郷土芸能やボランティ

No.	ページ	該当箇所	意見等の概要	意見等に対する回答
			デンティティ(郷土愛)を身につける機会が奪われている。 生涯学習の推進の「学校・家庭・地域の連携と協働」を学校教育の充実の「豊かな心を育む教育の推進」に移し子供たちが安全に自然体験でき、「生きる力」を身につけることができる仕組みづくりが必要であり、学校を核とした地域学校協働活動として推進することを提案する。	ア活動を行う等、地域の協力を得て実施し、子どもたちと地域社会との関わりを深めていこうとするものであることから、「生涯学習の推進」に記載しています。
3	P53	主要事業 3 スポーツ・レクリエーションの振興 基本事業 1 推進体制の充実 スポーツツーリズムの推進	森・川・海をフィールドとしたアウトドアやアクティビティにも目を向けて推進していけば、宮古ならではのスポーツツーリズムとして差別化でき、3.11 で受けた支援を社会に還元していくことができると考える。	ご意見を参考に取り組んでまいります。